

キヤノン株式会社
2025年経営方針説明会

イメージンググループ

2025年3月7日

副社長執行役員 イメージンググループ管掌

戸倉 剛

Canon

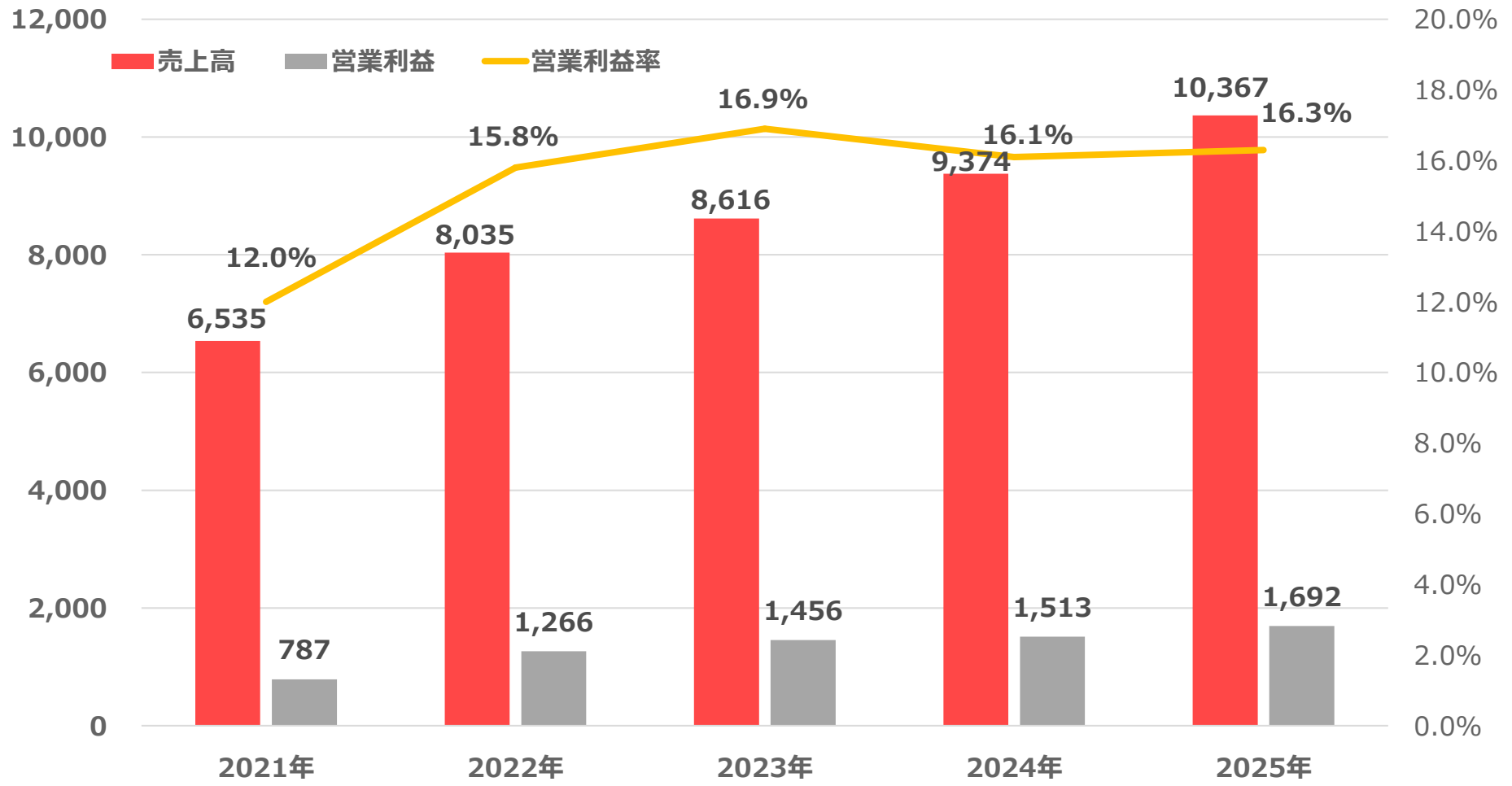
本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

一部画像を削除しております。

イメージング PL推移

売上高/営業利益(億円)

利益率



2024年の成果と課題 & 今後の成長に向けた取り組み

2024年までの成果と課題

■ 成果

- カメラ : レンズ交換式カメラ22年連続シェアNo.1を維持
- : ミラーレスフラッグシップ機 EOS R1発売や、RFマウントレンズ累計56本※など、ラインアップを更に拡充
- : CINEMA EOS SYSTEMでは新製品を発売し、幅広い映像コンテンツの制作ニーズに対応
- ネットワークカメラ : 4年連続で二桁増収 Milestone に BriefCam と Arcules を統合してソリューション事業を強化
- その他新規事業 : 3Dイメージング領域への取り組み強化

■ 課題

1. 世界的なインフレや不安定な世界情勢の中で、成長継続と高収益性の維持
2. 多様化する価値観やニーズなど、環境変化への対応

※シネマレンズ含む本数



今後の成長に向けた取り組み

1. カメラ市場での絶対的な地位を確立
2. グループ連携によるネットワークカメラ事業の拡大
3. 生産性向上による利益体質の強化
4. 新しい事業領域への展開

1. カメラ市場での絶対的な地位を確立

高度な光学・カメラ技術をベースに、多様な顧客ニーズに応える商品・サービスを提供する

報道



動画志向顧客への展開



映像クリエイター

SNS配信

若年層からの支持獲得



プロからの絶対的信頼



- EOS Rシステムだからこそ実現できる魅力ある商品の継続投入による圧倒的MLシェアNo.1実現
- 静止画のみならず動画撮影ニーズにも対応したハイブリッドなカメラ・レンズラインアップの拡充
- 若年層へのスマートフォンとは異なる価値体験の提供
- AIの活用も含めたカメラ・レンズの各種機能、性能の向上
- プロの仕事を止めないゼロダウンタイムを目指し、最高のサービス・サポートを提供

2. グループ連携によるネットワークカメラ事業の拡大

キヤノングループのシナジーを推進し市場での地位を強化する

【ネットワークカメラ市場】

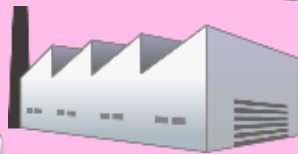
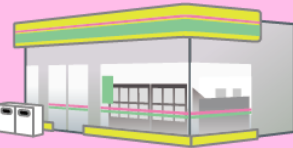
セキュリティから映像ソリューションへ拡大し継続成長

映像ソリューション市場

生産性向上
人手不足解消
業務改善

セキュリティ市場

安心・安全



ハード 圧倒的なネットワークカメララインナップ°

Canon

SPAD
SENSOR



AXIS
COMMUNICATIONS



ソフト 業界屈指の映像管理・解析ソリューション

milestone

Arcules



XProtect



BriefCam



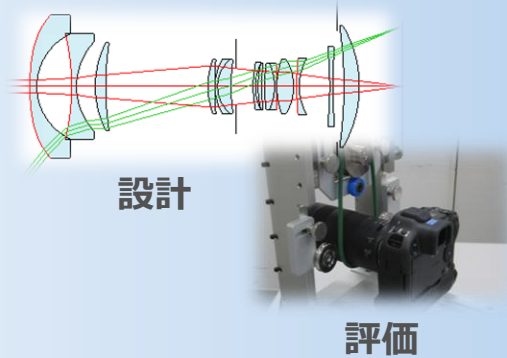
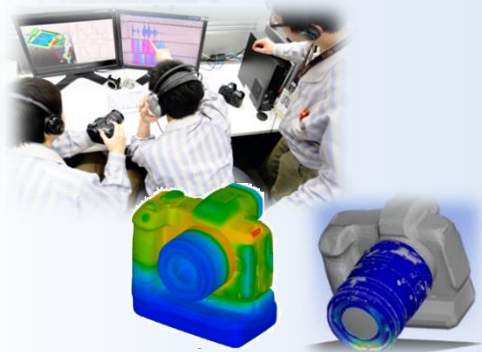
3. 生産性向上による利益体質の強化

最先端技術を活用し、効率的開発・最適生産の体制を構築する

効率的開発体制

シミュレーション活用

自動化



最適生産体制

自動化

内製化



AI技術活用



設計プロセス革新



生産プロセス革新

4. 新しい事業領域への展開

3Dイメージングのユースケース拡大

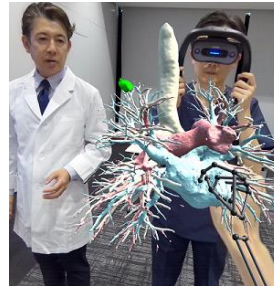
EOS VR SYSTEM

高画質な3D VR映像撮影



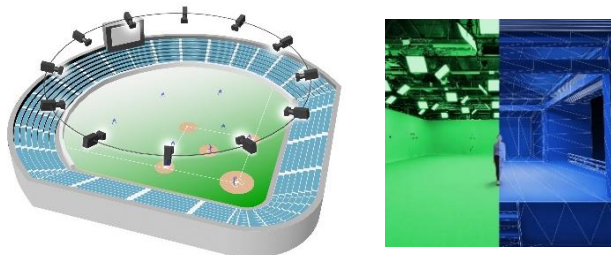
MREAL

デジタル立体イメージと
現実世界の違和感ない融合



Volumetric Video

リアルタイム3D生成



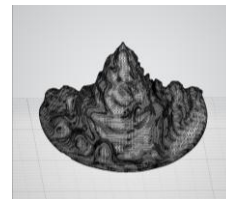
東京ドーム、スタジオで実証展開

EOS画質3D

EOS 1台 ワンショットで
高画質な3Dデータを生成



ワンショット撮影



3Dデータ化

コンポーネントビジネスの立ち上げ

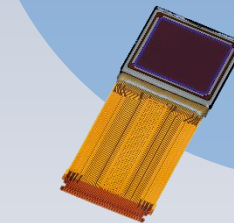
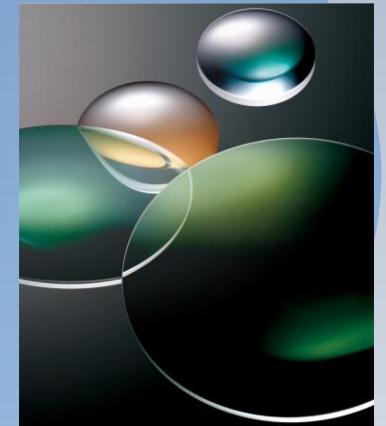
内製技術の活用

内製デバイス



SPAD
SENSOR

光学技術



μOLEDモジュール